

中学校給食調理場設置方式の比較について

	自校方式	センター方式	親子方式
概 要	学校ごとに調理場を設ける方式。	複数の学校の給食を一括して調理し、配送する方式。	調理場を持つ自校方式の学校が、調理場を持たない学校の給食調理を行う方式。
	3小学校の給食室＋中学校敷地内に給食室を新設する。 建築面積：400 m ² 喫食数：500 食	3小学校の給食室は使用をやめ、市街化区域に給食センターを新設する。 建築面積：1,000 m ² (敷地面積：3,000 m ²) 喫食数：1,400 食	御牧小学校給食室を増設する。 建築面積：500 m ² (敷地面積：1,500 m ²) 喫食数：700 食
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 調理から喫食までの時間が短い。 →温かい・冷たい食事の提供ができる。 食中毒のリスクを抑えられる。 配送の手間がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ランニングコストは低く抑えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2校分の給食を1施設でまかなえ、ランニングコストを抑えられる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ランニングコストが4施設分かかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初期投資が高くなる。 調理から喫食までの時間が長くなる。 土地確保に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 御牧小学校内に増設できないため、土地の確保が必要となり、初期投資が高くなる。 土地確保に時間がかかる。
コ ス ト I：イニシャル R：ランニング（小中） ※人件費は町雇用の費用	I：271,300,000 円 R：85,786,000 円	I：862,800,000 円 R：60,376,000 円	
国庫補助額 (イニシャルコストに対して)	35,190,000 円	136,246,000 円	

自校式A 【土地】中学校敷地内に建設・【喫食数】500食・【給食調理員】町雇用6名
 自校式B 【土地】中学校敷地内に建設・【喫食数】500食・【給食調理員】民間委託6名
 センター方式A 【土地】市街化区域・【喫食数】1,400食・【給食調理員】町雇用10名
 センター方式B 【土地】市街化区域・【喫食数】1,400食・【給食調理員】民間委託10名

				(千円)	計算根拠	
自校式A	イニシャルコスト	土地		0		
		建物	400㎡	268,000	別紙	
	ランニングコスト	リフト設置		3,300		
		人件費	正職員3名	15,000	5,000,000×3名	
			臨時3名	3,625	(800×7.5h+360)×190日×3人	H27予算参考
		需用費	消耗品	380	839,996÷(御牧260食+佐山390食+東角470食)×500食	H26決算額参考
			燃料	1,529	1,192,000(佐山小年間ガス代)÷390食(佐山小食数)×500食	H26決算額参考
			修繕	300	900,000÷3小学校	H27予算参考
			害虫駆除	40	115,128÷3小学校	H27予算参考
		委託料	リフト保守点検	78	12,000×2台×3回×1.08	H27予算参考
			油分離槽維持管理	105	314,280÷3小学校	H27予算参考
		検便(6人)	109	700円×6人×2回×12月×1.08	H27予算参考	
		備品購入費	給食備品	150	450,000÷3小学校	H27予算参考
イニシャルコスト計 a			271,300	(国庫補助 35,190千円)		
ランニングコスト計 b			21,316			
合計 a+b=c			292,616			
3小学校ランニングコスト計 d			64,470	小学校給食運営事業17,457千円+正職員7名分人件費47,013千円	H26決算額参考	
小・中学校ランニングコスト計 b+d			85,786			
自校式B	イニシャルコスト	土地		0		
		建物	400㎡	268,000	別紙	
	ランニングコスト	リフト設置		3,300		
		人件費	民間委託	14,766	44,298,000÷3年 3年契約6人配置の金額をもとに計算	三山木小学校
		需用費	消耗品	380		
			燃料	1,529		
			修繕	300		
			害虫駆除	40		
		委託料	リフト保守点検	78		
			油分離槽維持管理	105		
			検便(6人)	109		
		備品購入費	給食備品	150		
	イニシャルコスト計 a			271,300	(国庫補助 35,190千円)	
ランニングコスト計 b			17,457			
合計 a+b=c			288,757			
3小学校ランニングコスト計 d			64,470			
小・中学校ランニングコスト計 b+d			81,927			
センター方式A	イニシャルコスト	土地	3,000㎡	270,000		
		建物	1,000㎡	589,500	別紙	
	ランニングコスト	リフト設置		3,300		
		人件費	正職員6名	40,297	47,013,000円÷7人×6人	
			臨時職員4名	6,360	(800×7.5h+360)×250日×4人	
		需用費	消耗品	1,050	839,996÷(御牧260食+佐山390食+東角470食)×1,400食	
			燃料	4,279	1,192,000(佐山小年間ガス代)÷390食(佐山小食数)×1,400食	
			修繕	300		
			害虫駆除	40		
		委託料	リフト保守点検	312	12,000×2台×3回×1.08×4校	
			油分離槽維持管理	350	314,280÷3小学校食数1,120食×1,400食	
			検便(10人)	181	700円×10人×2回×12月×1.08	
			配送	3,967	1,044円×2.5時間×190日×2名×4校	
	配膳	3,040	1,000円×2時間×190日×2名×4校			
	備品購入費	給食備品	200			
イニシャルコスト計 a			862,800	(国庫補助 136,246千円)		
ランニングコスト計 b			60,376			
合計 a+b=c			923,176			
センター方式B	イニシャルコスト	土地	3,000㎡	270,000		
		建物	1,000㎡	589,500	別紙	
	ランニングコスト	リフト設置		3,300		
		人件費	民間委託	24,610	44,298,000÷3年÷6人×10人 3年契約6人配置の金額をもとに計算	三山木小学校
		需用費	消耗品	1,050		
			燃料	4,279		
			修繕	300		
			害虫駆除	40		
		委託料	リフト保守点検	312		
			油分離槽維持管理	350		
			検便(10人)	181		
			配送	3,967		
			配膳	3,040		
	備品購入費	給食備品	200			
イニシャルコスト計 a			862,800	(国庫補助 136,246千円)		
ランニングコスト計 b			38,329			
合計 a+b=c			901,129			

	自校式A	自校式B	センターA	センターB
初年度経費	357,086	353,227	923,176	901,129
10年目	1,129,160	1,090,570	1,466,560	1,246,080
20年目	1,987,020	1,909,840	2,070,320	1,629,380
30年目	2,844,880	2,729,110	2,674,080	2,012,670

(千円)